

科目名	保育実習Ⅰ（施設）		担当教員	佐藤 隆司・久保 瑤子 加藤 次郎		
			担当形態	複数		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	2単位	実習	開講時期	集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <p><利用者理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設において、利用者がどのような生活をし、どのように人と関わって生きているのかを具体的に理解する。 <p><職務の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が援助観に基づく意図を持って援助を行っていることを知り、その内容を具体的に知る。 <p><施設の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設における基本的な機能について具体的に理解する。 <p><自己課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の良さや課題、価値観などに気づく。 <p>■授業の概要</p> <p>本教科は、保育士資格を取得するために必要な実習の1つであり、1年次の授業終了後に実施される。実習としては教育実習Ⅰに続くステップとなる。</p> <p>実習は、おおむね11日間以上で90時間以上実施し、意欲・目的意識を持って参加するとともに、勤務時間の順守及び、日常の記録の作成と提出等が必要になる。</p> <p>また、障害者スポーツ大会や夏季のボランティア、現場の職員によるレクチャー、先輩の話などを行って、障がい者や施設に対する理解を進め、さらに実習直前には事前訪問を通じて、実習施設と実習生とが互いに理解する機会を設定し、施設の状況を理解した上で実習に臨めるように計画している。</p> <p>学生には多様な異なる価値観を受け入れる素地を創るきっかけとなることを目的とする。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導で立てた目標の達成状況 — 10% ・実習の取組み状況 — 40% ・実習記録 — 20% ・実習園からの評価表 — 30% <p>*前提として、実習事前事後指導を学修していることが条件になる。</p>						
参考文献	追って指示する。	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を規定時間行うことが必要となるが、規定時間を満たしたとしても、実習の状況等により、単位の修得ができない場合があり得る。 ・単位を修得出来ない場合、次年度保育実習Ⅱ、Ⅲ及び保育実習指導Ⅱ、Ⅲは履修出来ない。 			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	幼				
		保	保育実習			